第 17 期（2013 年度）

PHD協会　国内研修生（インターン）募集 !!

海外研修生とともに学び、
アジア・南太平洋の草の根の人々と共に生きるための活動に関わりませんか？

2013 年度の海外からの研修生

プレムさん（ネパール）

ダリスマンさん（インドネシア）

モーママさん（ミャンマー）

■ 啓発担当の国内研修生

広報活動、NGO 運営業務に興味がある！という方

広報物の作成や HP の更新、ボランティア対応など、NGO運営業務補佐も担当していただきます。自由度が高く、やる気と創意工夫次第で様々な経験を積むことができます。当会が扱っているタイ・カレンの草木染め手織り布やネパールの手編みのセーター類の管理やバザーでの販売にも関わっていただきます。

また、希望者には、海外研修生と一緒に農業及び保健衛生などの研修に同行することもでき、学びの現場に立ち会うことができます。

そして、12 月にはタイへの買い付けのための航空券が支給されます。また希望者は海外研修生と一緒に東日本研修旅行（11 月に約 10 日間）、西日本研修旅行（1 月に約2週間）への同行ができます。

バザーで商品を販売

【募集人員】1名
【研修地】原則として当協会事務所。交通費支給（上限有）。海外研修生の研修現場（主に兵庫県内各地）、外部での研修プログラムへの参加もあります。
【期間】2013 年 5 月より 2014 年 3 月までの間で、週 3 日～ 5 日、9:00 ～ 18:00 を原則とし、面談の上決定。
【募集締切】4 月 20 日（土）必着
【選考方法】一次：書類選考、小論文　二次：面接（4 月末予定）

＊詳しい募集要項をお送りしますので、下記までお問い合わせください。
＊研修担当の国内研修生は、決定いたしましたので、ご了承ください。

PEACE, HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT
THE PHD FOUNDATION

当会活動・選考について、
詳しい資料をお送りいたします。
お問い合わせください。

公益財団法人　PHD協会
〒 650-0022　神戸市中央区元町通 5-4-3　元町アーバンライフ 202
電話：078-351-4892　FAX：078-351-4867
E mail:　yoshida@phd-kobe.org　　URL:　http://www.phd-kobe.org

国内研修生をやってみて　～第 16 期国内研修生より

安本　　藤原

海外研修生の研修に同行

■ 安本真理子

（大学卒業後、一般企業で勤務。退職後、国内研修生に）

この１年間、数え切れないほどの素敵な出会いに恵まれました。海外研修生と一緒に過ごしたり、共に研修を受ける中で、自然や人との繋がりを一番大切にして生きていきたいと思うようになりました。また、研修指導者の方々、ボランティアや各地で支援して下さっている方々との出会いも貴重でした。国際協力の現場を肌で感じられ、ボランティアとしてでは味わえない充実感を得ることができます。

事務所にて研修の振り返り

■ 藤原峻悟

（大学在学中、国内研修生に）

「豊かさ」について見直させてくれる機会を与えてくれたと思っています。今、日本には、ホームレス、水俣病、ハンセン病、農業などの社会問題があると思います。それらの問題に対して目を背けずに向き合っている人たちと出会うことができました。そして、海外研修生と共に、日本の社会問題について考えることができます。金銭的、物質的「豊かさ」ひいては、自分を見直していくことが最初の国際協力に思えました。

担当職員より

■ 啓発担当　芳田弓生希（写真左）

１年を通じて NGO の運営や業務を体験していただきますが、当会を支えて下さっている多くの方々との素敵な出会いが待っています。この１年での出会いが、きっと次の一歩に繋がると思います！

海外研修生と共に学ぶ研修旅行

PHD協会とは

PHD協会は、ネパールなどで 1962 年から医療活動に従事した岩村昇医師が自らの経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一時的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱し、1981 年に設立した国際協力の団体です。アジア・南太平洋の村の青年を研修生として日本に招き、農業、裁縫、保健衛生といった内容の研修を行い、帰国後もフォローアップを行うことを通じて、草の根の人々による村づくりと生活向上に協力しています。今までに、フィリピン、インドネシア、ミャンマーなど 11 カ国から約 260 名の草の根の人々を受け入れてきました。日本の人々もアジア・南太平洋の人々との交流を通して学ぶことはたくさんあります。そこから、毎日の生活を問い直し、草の根の人々と共に生きることのできる生活を、足元から実践するための活動を続けています。